

この PDF データはすでに電子書籍を出版している方の
ペーパーバック出版申請方法になります。

電子書籍出版がまだの方はまず電子書籍を出版することをお勧めし
ますので、以下の書籍を参考にしてください。

『出版の王国』

とにかく本を書いて出版したい人のための出版バイブル

<https://www.amazon.co.jp/dp/B094GT36CV>

『ガチ出版』

コツさえ分かれば誰でも本は書ける

<https://www.amazon.co.jp/dp/B098DXBFPC>

『出版の魔法』

<https://www.amazon.co.jp/dp/B09HMR5Z8J>

ペーパーバックの作成手順

↓

KDP『本棚』から本棚ページのペーパーバックしたい電子書籍欄の『ペーパーバックの作成』をクリック

↓

スクロールしてページ下部の『保存して続行』をクリック

↓

無料の KDP ISBN を取得をクリック

↓

出版日

空欄で OK

↓

印刷オプション

本文白黒で OK

判型、裁ち落とし設定、ペーパーバックの表紙仕上げはそのまま OK

ページを読む方向は出版する本が横書きか縦書きかによって選択する。

↓

原稿

日本語は PDF のみ対応している。

電子書籍で出版した原稿をそのままアップロードすると無茶苦茶になるので要注意。

紙の書籍用に体裁を整える必要がある。

↓

表紙

こちらも日本語は PDF のみ対応している。

原稿よりもさらに厄介なのは原稿を包み込むカバーになるためサイズの調整が難しい。指定された通りにアップしてもエラーが出ることもある。

サイズエラーの場合は [KDP 表紙計算ツール](#) を使用し本の情報を入力して表紙 PDF の大きさを整える。

表紙の作成方法は無料の画像編集ツール canva がお勧め。この方のサイトがわかりやすかったので参考までに。

[【KDP】ペーパーバックの表紙の作成方法【Kindle】](#)

↓

本のプレビュー

プレビューアで必ず表紙と原稿がどのように表示されるか確認すること。

お疲れさまでしたという表示が出れば OK。

エラーが出ていると承認ボタンが押せない。

承認ボタンが押せると一冊当たりのコストが計算される。

私の経験上だいたい 300 ページ弱で 750 円程度だった。ただ半分の 150 ページならコストが半額になるのかは現時点ではわからない。

↓

『保存して続行』をクリックする

↓

出版地域

「特定の出版地域」に限定しない限り「すべての地域」のままで OK

↓

主なマーケットプレイス

日本の場合は Amazon.co.jp

↓

価格設定、ロイヤリティ、配信

最小価格が表示されるためその価格以上を入力する

印税率は販売価格の 60%だが、印刷コストを差し引いた金額がロイヤリティとして受け取れる。

↓

最後に「ペーパーバックを出版」で紙の書籍が出版される。

※自動の出版申請で OK となっても、出版時の審査で NG になるケースもある。
審査合格から 72 時間以内でアマゾンで購入可能となる。

どうしても出版方法がわからない、そもそも本の書き方がわからないなど、個別に出版のコンサルを受けたい方はこちらからお問い合わせください。

[⇒100 冊以上出版済みの出版のプロに問い合わせる](#)

代筆屋作家 中島泰成